

資料③

必要な力
<ul style="list-style-type: none">・電話のかけ方がわかる。・適切な言葉で自分の思いや言いたいことを伝えられる。・社会の一般的なルールが分かる。・連絡をしなかった後、どのようになるのか理解できる。
必要とされる教科の内容
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none">・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ))・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ))・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ))・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)
<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none">・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊦)・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊦)
<p>〈職業〉</p> <ul style="list-style-type: none">・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階イ職業(ア)㊦)
<p>〈道徳〉</p> <ul style="list-style-type: none">・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A主として自分自身に関すること1)・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。(B主として人との関わりに関すること7)

必要な力

- ・ 体力をつける。
- ・ 体調の自己管理ができる。
- ・ 体調不良になる前兆がわかる。
- ・ 体調の不良や自分の体の状態を適切に他者に伝えられる。
- ・ 自分の苦手なことでも少し頑張ろうとする気持ちがある。
- ・ どれくらい自分が欠課をしているかが分かり、調整して出席しようとする。

必要とされる教科の内容

〈国語〉

- ・ 社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知識(ア))
- ・ 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解する。(1段階・知識(エ))
- ・ 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。(2段階・知識(エ))
- ・ 接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知識(オ))
- ・ 話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)
- ・ 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。(1段階・思考Aオ)

〈社会〉

- ・ 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)①)
- ・ 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)①)

〈体育〉

- ・ 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりする。(1段階A体づくり運動ア)
- ・ 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くこと。(1段階H体育理論ア)
- ・ 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むこと。(1段階H体育理論ウ)
- ・ 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解すると、ともに健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。(1段階I保健ア)
- ・ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階I保健イ)

〈家庭〉

・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。(1 段階 A 家族・家庭生活ウ (ア))

・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現すること。(1 段階 A 家族・家庭生活ウ (イ))

〈数学〉

・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(1 段階 A イ (イ))

・目的に応じて四則計算の結果の見積りをする事 (1 段階 A ウ (ア) ㉞)

・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1 段階 A ウ (イ) ㉟)

・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(1 段階 A エ (ア) ㊱)

・伴って変わる 2 つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1 段階 C ア (イ) ㊲)

・ある 2 つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること (1 段階 C ウ (ア) ㊳)

・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え直すこと。(1 段階 D ア (イ) ㊴)

〈道徳〉

・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A 主として自分自身に関する事 1)

・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心がけ安全で調和のある生活すること。(A 主として自分自身に関する事 2)

・勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。(C 主として集団や社会との関わりに関する事 1 3)

・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。(B 主として人との関わりに関する事 7)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> ・友達との適切な関わり方が分かる。 ・男女間の適切な関わり方が分かる。 ・社会の一般的なルールが分かる。 ・感情のコントロールができる。 ・適切な言葉で自分の気持ちを説明したり、相手の言っていることを正しく受け止めたりする。 ・情報モラルの意味が分かり、どのようにしていけばよいのかわかる。 ・SNSの正しい使い方が分かる。
必要とされる教科の内容
<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知識ア(ア)) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解する。(1段階・知識ア(エ)) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。(2段階・知識ア(エ)) ・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知識ア(オ)) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。(1段階・知識イ(ア)) ・社会の中で関わる人の話しなどを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話しの内容を捉えること。(1段階・思Aア) ・目的に応じて話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。(1段階・思Aイ) ・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ) ・相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。(1段階・思考Aオ) <p><社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊶) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)㊷) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊸) <p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体内には生命活動を維持するための様々な臓器があること。(1段階A生命(ア)㊹) <p><音楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能。(1段階A表現ア(ウ)㊺)

・各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。(1段階 A 表現イ (ウ) ㉗)

・友達と動きを組み合わせて表現をする技能。(1段階 A エ (ウ) ㉘)

・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 (2段階 A 表現ア (ウ) ㉙)

〈体育〉

・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階 A イ)

・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階 A ウ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 B ウ)

・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 C ウ)

・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 D ウ)

・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 E ウ)

・心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解すると、ともに健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。(1段階 I 保健ア)

・健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階 I 保健イ)

〈職業〉

・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。(1段階 A イ (イ) ㉚)

〈家庭〉

・家族とのよりよい関わり方について考え、表現すること。(1段階 A ア (イ))

・家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと。(1段階 A イ (ア))

・家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現すること。(1段階 A イ (イ))

・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践すること。(1段階 A ウ (ア))

・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現すること。(1段階 A ウ (イ))

〈情報〉

・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ること。(1段階 A ア (イ))

・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ること。(1段階 A ア (ウ))

- ・目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法をについて考えること。(1段階 A イ (ア))
- ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えること。(1段階 A イ (イ))
- ・身近にある情報や情報技術の活用について考えること。(1段階 A イ (ウ))
- ・身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けること。(1段階 B ア (ウ))
- ・コミュニケーションの目的に合わせて必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。(1段階 B イ (イ))
- ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫すること。(1段階 B イ (ウ))

〈道徳〉

- ・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。(B 主として人との関わりに関すること 6)
- ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。(B 主として人との関わりに関すること 8)
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。(B 主として人との関わりに関すること 9)
- ・法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること 10)
- ・正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること 11)
- ・生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。(D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関すること 19)
- ・人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。(D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関すること 22)

必要な力

- ・ 不要物が何か分かる。
- ・ 学校のきまりを守ろうとする。
- ・ 自他の区別、公のものが分かる。

必要とされる教科の内容

<国語>

- ・ 社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア))
- ・ 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。(2段階・知識ア(エ))
- ・ 接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知識ア(オ))
- ・ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。(1段階・知識イ(ア))
- ・ 社会の中で関わる人の話しなどを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話しの内容を捉えること。(1段階・思Aア)
- ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。(1段階・思考Cエ)
- ・ 目的を意識して、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見付けること。(2段階・思考Cエ)

<社会>

- ・ 社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けること。(2段階ア社会参加ときまり(ア)㉞)
- ・ 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㉞)
- ・ 社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(ア)㉞)
- ・ 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㉞)
- ・ 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㉞)
- ・ 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)㉞)
- ・ 社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)㉞)
- ・ 生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。(1段階イ公共施設の役割と制度(ア)㉞)
- ・ 生活に関係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現すること。(1段階イ公共施設の役割と制度(ア)㉞)

〈道徳〉

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。(A主として自分自身に関すること1)
- ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り、節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A主として自分自身に関すること2)
- ・法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。(C主として集団や社会との関わりに関すること10)
- ・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。(C主として集団や社会との関わりに関すること15)

必要な力
<ul style="list-style-type: none"> ・数量の計算ができる。 ・社会生活を営むためにはお金が必要であることがわかる。 ・自分にとって必要なお金がどれくらいかが分かる。 ・お金を持っていない時にどのように対応すればよいのかわかる。
必要とされる教科の内容
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知(ア)) ・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知(オ)) ・日常よく使われる敬語を理解し、使うこと(1段階・知(カ)) ・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れること(2段階・知(カ)) ・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ) <p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)㊦) ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)㊧) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)㊨) <p>〈数学〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(1段階Aイ(イ)) ・目的に応じて四則計算の結果の見積りをする事(1段階Aウ(ア)㊩) ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(1段階Aウ(イ)㊪) ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(1段階Aエ(ア)㊫) ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(1段階Aコ(イ)㊬) ・四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。(1段階Aサ(ア)㊭) ・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えること。(1段階Aサ(イ)㊮) ・伴って変わる2つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(1段階Cア(イ)㊯) ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。 <p>〈体育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のた

めの方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階 A イ)

- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階 A ウ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 B ウ)
- ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 C ウ)
- ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 D ウ)
- ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階 E ウ)

〈職業〉

- ・職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。(1段階イ職業 (ア) ①)

〈道徳〉

- ・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節約に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A 主として自分自身に関する事 2)
- ・法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める事。(C 主として集団や社会との関わりに関する事 10)

必要な力

- ・事実と思いの区別ができ、正しく理解できる。
- ・自分のことをある程度客観的に振り返ることができると共に自分の思いや気持ちを伝えることができる。
- ・相手にわかりやすく説明できる。
- ・接続詞を正しく使いながら、話すことができる。
- ・現在、過去、未来の時系列が正しく理解できる。
- ・状況を正しく理解できる。
- ・ワーキングメモリーや長期記憶がある程度身に付いている。
- ・倫理観や正義感をもっている。

必要とされる教科の内容

<国語>

- ・社会生活に係る人とのやりとりを通して、言葉には、考えや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。(1段階・知識ア(ア))
- ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方など注意して話すこと。(1段階・知識ア(イ))
- ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解する。(1段階・知識ア(エ))
- ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。(2段階・知識ア(エ))
- ・接続する語句の役割、段落の役割について理解すること(1段階・知識ア(オ))
- ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。(1段階・知識イ(ア))
- ・社会の中で関わる人の話しなどを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話しの内容を捉えること。(1段階・思Aア)
- ・目的に応じて話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。(1段階・思Aイ)
- ・話の中心・内容が明確になるよう話の構成を考えること(1・2段階・思Aウ)
- ・相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。(1段階・思考Aオ)

<社会>

- ・社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。(1段階ア社会参加ときまり(ア)①)
- ・社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、その伴う責任について考え、表現すること。(2段階ア社会参加ときまり(ア)①)
- ・社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解すること。(1段階ア社会参加ときまり(イ)⑦)
- ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現す

ること。(2段階ア社会参加ときまり(イ)㊦)

〈数学〉

- ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともにそれを日常生活に生かすこと。(1段階A数と計算ウ(イ)㊦)
- ・二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察すること。(1段階A数と計算コ(イ)㊦)
- ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の2つの数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。(1段階C変化と関係ウ(イ)㊦)

〈体育〉

- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。(1段階Aイ)
- ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動をすること。(1段階Aウ・器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Bウ)
- ・陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Cウ)
- ・水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Dウ)
- ・球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動をすること。(1段階Eウ)

〈職業〉

- ・勤労の意義を理解すること(1段階A職業生活ア(ア))
- ・意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現すること。(1段階A職業生活ア(イ))
- ・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。(1段階A職業生活イ(ア)㊦)
- ・作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え表現すること。(1段階A職業生活イ(イ)㊦)

〈情報〉

- ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ること。(1段階A情報社会の問題解決ア(ウ))
- ・目的や状況に応じて身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えること。(1段階A情報社会の問題解決イ(ア))

〈道徳〉

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ

こと。(A主として自分自身に関すること1)

・望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。(A主として自分自身に関すること2)

・より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる事。(A主として自分自身に関すること4)

・真実を大切にし、心理を探究して新しいものを生み出そうと努める事。(A主として自分自身に関すること5)

・思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深める事。(B主として人との関わりに関すること6)

・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自ら高めていく事。(B主として人との関わりに関すること9)

・法やきまり意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める事。(C主として集団や社会との関わりに関すること10)

・教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実を努める事。(C主として集団や社会との関わりに関すること12)

・人間には自らの弱やさ醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだす事。(D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること22)